

発行日：2014年4月25日

発行：地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

病院長 就任のご挨拶

本年4月1日づけで病院長に就任いたしました。長く病院長を務められました岸本先生の後で十分に職責を果たすことができるのかと不安ですが、私なりに精一杯この大阪府立母子保健総合医療センターの発展のために取り組む所存です。どうかよろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介をさせていただきます。昭和51年に大阪大学医学部を卒業し、当センターに赴任するまでは14年足らず山形大学医学部産科婦人科教室の教授を務めました。山形大学医学部附属病院では、「地域連携センター長」を5年間にわたって務めましたので、医療における地域連携の重要性は理解しているつもりです。ただし、山形と大阪では地域医療が全く別ものですし、また、当センターは周産期医療と小児医療に特化した病院であるという大きな特徴がありますので、当然のことながら地域連携のあり方も当センター独特であろうと思われます。この点は当センターの先生方やメディカルの皆さん、地域の先生方、看護職の皆様、さらには、介護関連施設の皆様などにご指導とご援助をいただきながら、地域連携を進めて参りたいと考えています。

以前は、医療は1病院で完結することが基本であったのですが、最近は1病院で完結する医療はないと考えるべきです。患者・患児を中心として、急性期病院だけでなく慢性期の医療を担う病院や介護施設、さらには自宅も含めた地域で連携しあうことが基本です。従いまして、地域医療連携室の充実は、どの施設においても非常に重要な課題です。当センターでは、以前はもっぱら重症妊婦や重症新生児・小児の受け入れ、すなわち、「前方支援」が主な連携の形態でしたが、今後は小児のトランジションなどの問題を考えると、当センターからほかの施設へ紹介する「後方支援」も重要です。

地域連携には、多くの職種の皆さんの協力が欠かせません。すべての患者さんについて入院時点から、退院に向けての計画を策定することが基本です。他施設への転院が予測される場合や、特別な自宅介護が必要だと思われる場合には、入院時点から、それに向けての計画づくりがスタートしなければなりません。この退院支援には、各病棟の看護師の皆さんの協力とともに、医師の協力も必須です。その退院支援体制に応じた適切な医療費を請求することも重要です。

今後、当センターの地域支援体制は患者さんを支援する複数の部署を有機的に統合し、患者さんにとってより良い支援を提供していく予定です。

皆様のご理解とご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

(病院長 倉智 博久)



病院長 倉智 博久

基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します。

基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- 地域の保健医療機関と連携して、母子保健医療を推進します。
- 母子に関する疾病の原因解明や、先進医療の開発研究を進めます。

産 科

当センター産科は、総合周産期母子医療センターかつ OGCS の基幹病院として大阪府内におけるハイリスク胎児・妊産婦に高水準の診療を提供してきました。現在 18 名のスタッフが精力的に診療にあたっております。母体胎児集中治療室 (MFICU) は 9 床を備え、産科救急にも 24 時間対応し、年に約 190 件の母体搬送を受け入れています。特に常位胎盤早期剥離等の胎児救命症例は即座に受入れするよう努力しております。

分娩は年間約 1600 件を取り扱いますが、セミオープンシステムによる分娩も積極的に行っています。このうち、早産が約 2 割を占めますが、スムーズに新生児科による新生児管理に繋がります。

当センターの初診外来では、患者さんのリスクの有無を問わず随時、診療をお受けしております。胎児外来では精密な胎児診断と胎児治療を提供し、小児各科と連携して生後の治療の準備を行います。多胎外来で多胎妊娠に関する専門的管理を行い、特に双胎間輸血症候群に対するレーザー凝固術は年に約 40 例に施行しています。また最近では、胎児精密超音波外来、出生前カウンセリング外来、早産予防外来、母体合併症外来を開設し、それぞれ専属スタッフによる最新の情報に基づく診療を提供しています。

(産科 主任部長 光田 信明 ・ 産科 部長 石井 桂介)



◀ 4床部屋



2床部屋 ▶

母性棟の病室を一部改装しました

設備を充実させ、プライバシーにも配慮しました
オプション (有料) でご利用いただけます

母性内科

母性内科は、妊娠・出産に関する生理・病態や薬剤リスクなどの知識や新しい知見を踏まえた総合診療内科であり、かつ、糖尿病、甲状腺疾患、自己免疫疾患、妊娠高血圧症など頻度の高い母体合併症に習熟した専門内科でもあります。また、流産や死産、胎児発育遅延を繰り返す不育症の原因究明や予防に取り組んでいます。私たち母性内科医は、胎児環境を考慮しての妊婦治療、内科疾患をもつ患者さんの妊娠前からの治療、出産後に変化する病態への対応といった妊娠をはさむ長いスパンで診療を行います。

妊娠は免疫や代謝をはじめとする生体システムに対する負荷試験であることが多いことから、潜在的な疾患を発見して早期治療・発症予防につなげています。



母性内科スタッフ

母子医療センター産科を受診される妊婦さんの合併症については「共観」という形で総合的な診療を行い、また、他の産科医療機関への受診を継続したまま当科が合併症を診断・治療あるいはコンサルトさせていただくという連携診療も行っています。

(母性内科 主任部長 和田 芳直)

手術棟完成に伴う小児集中治療室 (PICU) の運用



当センターの PICU は 日本でも数少ない 24 時間集中治療医が常駐する PICU です。人工呼吸や体外循環を必要とする重篤な子供さんの治療を得意にしています。でも、これまでは病床数が 8 床しかなく、常に満床状態であったために、他院から重篤な患者さんの受け入れ要請があっても、PICU でお預かりすることができないことがよくありました。それは、私たちにとっても、とても辛いことで

した。新しい手術棟が完成すると、PICU はハイケアユニット (HCU) も含めると 20 床に増える予定です。

そうなれば、これまではお断りせざるをえなかった患者さんを受け入れることができるようになります。このような患者さんを、私たちが出掛けて行って当センターに連れてくることも考えています。



私たちの経験や知識を生かして、重篤患者さんの治療に関する電話相談なども

お受けしていきたいと思っています。もちろん近隣の子供さんの心肺蘇生にも対応していきます。私たちは、今後、大阪全体を対象にした PICU として頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

(集中治療科 主任部長 竹内 宗之)



診療科 新任部長の挨拶

母性内科 主任部長 和田 芳直



わが国ではじめての母性内科医として 30 年前に母子医療センターに赴任した後、

長らく研究所長として病気の本質を追究してきた経験をもとに、エビデンスとグローバルスタンダードに基づいた診療をスタッフとともに進めますのでよろしくお願いします。

口腔外科 部長 山西 整



昨年口腔外科は、現役部長であった小原浩先生を亡くするという大きな不幸を経験しました。本当に大きな喪失でしたが、いつまでも嘆き続けることは小原先生の本望ではないと思います。常に患者さんのベストを考えながら、明るくフットワークの軽い口腔外科を目指したいと思いますのでよろしくお願いします。

4 月より地域医療連携室室長を拝命しました。

これまで以上に地域の医療機関の皆さまと連携し、前方支援だけでなく、後方支援の体制強化も課題であると認識しております。顔の見える連携を目指して努力してまいりますので、どうぞご協力をお願いいたします。



鈴木 保宏

地域医療連携室の
室長交代のお知らせ

地域の医療機関の先生方を対象に、下記の日程で、地域医療連携研修会を開催いたします。ぜひご参加ください。なお、研修会終了後ささやかながら情報交換の場をご用意しております。

日 時

2014 年 6 月 14 日 (土)
午後 4 時 ~ 6 時

場 所

ホ テ ル 日 航 大 阪
5 階 「鶴」の間
〒542-0086
大阪市中央区西心斎橋 1-3-3

1 教育講演 「てんかん診療の ABC」

座長 北口 正孝 先生 (馬場記念病院 副院長)

演者 鈴木 保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター 小児神経科 主任部長)

2 総長挨拶 「新手術棟の紹介」

福澤 正洋 (大阪府立母子保健総合医療センター 総長)

3 特別講演 「救急医療の全体最適化」

座長 竹内 宗之 (大阪府立母子保健総合医療センター 集中治療科 主任部長)

演者 小倉 真治 先生 (岐阜大学大学院医学系研究科 救急・災害医学 教授
救急救命治療センター長)

※共催：大阪府立母子保健総合医療センター、大塚製薬株式会社 後援：和泉市医師会
大阪府医師会生涯教育講座認定 (2 単位) を取得しております。(申請中)

イブニングセミナーのお知らせ

2014 年度も引き続きイブニングセミナーを開催いたしております。今年度はチーム医療として取り組んでいることをテーマにおこないます。事前申し込みは不要です。どうぞお気軽にご参加ください。

時間：午後 5 時 30 分 ~ 6 時 30 分

場所：大阪府立母子保健総合医療センター内 (下記参照)

| 日 程 | 場 所 | テーマ (仮題) | 担当部署 | 講演者 |
|-----------------|-------------|-----------------------------|-----------------|-------|
| 2014 年 5 月 8 日 | 研究所 大会議室 | 子ども虐待と 医療・保健・福祉の連携 | 母子保健情報 センター | 佐藤 拓代 |
| 2014 年 6 月 5 日 | 研究所 大会議室 | 母子医療センターの 子どもの看護 | 看護部 | 石見 和世 |
| 2014 年 7 月 3 日 | 研究所 大会議室 | 遺伝カウンセリング | 遺伝診療科 | (未定) |
| 2014 年 9 月 4 日 | 研究所 大会議室 | 子どもの喘息と アトピー性皮膚炎の標準的な治療 | 呼吸器・ アレルギー科 | 錦戸 知喜 |
| 2014 年 10 月 9 日 | 中 央 会議室 | 病院と地域をつなぐ、 子どもと家族への心理的支援 | 子どものこころ の診療科 | 山本 悦代 |

※テーマ、講演者につきましては各セミナー開催の 1 か月前に確定し、ホームページにてお知らせいたします。

交通のご案内



診 察 時 間：平日 午前 9 時 ~ 午後 5 時

予約受付時間：平日 午前 9 時 ~ 午後 7 時

地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立母子保健総合医療センター

地域医療連携室

〒594-1101 大阪府和泉市室堂町 840

T E L：0725-56-9890 (直通)・0725-56-1220 (代表)

F A X：0725-56-7785・0725-56-5605 (初診受付専用)

<http://www.mch.pref.osaka.jp>

この広報誌に関するご意見・ご要望は FAX にて地域医療連携室にお寄せください。